赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

cookie リクライニング

（クッキー）

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

使用期間 首がすわってから（生後3〜4月頃から）生後36月まで　体重制限15kg以下の乳幼児一人用ベビーカーです。

※ここでいう生後3〜4月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生児の体重が2.5kg以上を満たし、3〜4月を経過した乳児をいう。

ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。

また、お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。

もくじ

09-03

467-8N06

ご使用前に

適用範囲	本製品は、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せて外気浴、買物などに使用する一人乗り用の乳母車（ベビーカー）です。
使用期間	首がすわってから（生後3～4月頃から）生後36月まで
体重制限	15kg以下
望ましい連続使用時間	座らせた姿勢　1時間以内

本書の表示について

・「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
禁止	絶対してはいけない内容です。

ご使用上の注意

思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠警告	・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちけがをするおそれがあります。

必ず股ベルト、腰ベルト、肩ベルトを締めて使用すること。

シートベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。シートベルトは、お子さまの成長に合わせて調節してください。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちけがをするおそれがあります。

二人のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。

階段やエスカレーターなど段差のあるところで使用しない。

⚠警告	・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちけがをするおそれがあります。

ベビーカーの中でお子さまを立たせない。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちけがをするおそれがあります。

お子さまを乗せている時、カゴ以外に荷物を載せたり、つるしたり、ハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけない。

坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒し、お子さまがけがをするおそれがあります。

お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。（構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。）

お子さまを乗せる時や降ろす時は必ず車輪ストッパーを左右共ロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。

お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れない。

お子さまが落ちけがをしたり、ベビーカーが折りたたまれ挟まれるおそれがあります。

お子さまを乗せたまま持ち上げない。

使用前は必ず折りたたみ防止の固定装置がかかっていることを確認する。

夏季の晴天日中などは路面の影響によりベビーカー内の温度は高くなるので、長時間の使用は避ける。

⚠注 意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

・各部の操作をする時は、充分注意して行ってください。
・可動部でお子さまやご使用者さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをなされないよう、ご注意ください。
誤った取扱いや不注意により思わぬ事故やけがをするおそれがあります。

ベビーカーを開閉する時、可動部で指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしないように注意してください。

ベビーカーを押していて、無理な負荷が掛かった時など、指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしないように注意してください。

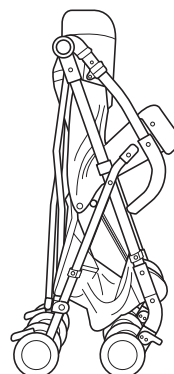
・空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
・２台のベビーカーを連結して使用しない。
・前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。
・体重15kgを超えるお子さまを乗せない。
・ベビーカーにお子さまを乗せて走行する時は、お子さまの為に普通の歩き方（時速約4キロメートル位の速さ）で押す。
・路面の状態、構造・機能上、耐久性などから、ストッパーを過信しない。構造上、自動車のパーキングブレーキのような安全なものではありません。
・ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。可動部や回転部に砂などが入り開閉できなくなります。
・フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
・ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。
・踏切では、線路に車輪がとられないように注意する。
・バスの中では使用しないでください。
本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
・電車の中での使用について。
本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
・電車などのご利用時には、無理な乗り降りはしない。
ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、ケガをするおそれがあります。
・雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。
プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
・その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

🚫禁 止

・絶対してはいけない内容です。

・当社サービス員以外の分解・組立・改造。
・保護者が、ベビーカーに腰を掛けること。
・急激に力を加えたり、落下させた後の使用。
・ネジやナットなどをはずしての使用。
・荷物などの運搬の為の使用。
・お子さまの遊び道具としての使用。
・その他、お子さまを乗せる以外の目的での使用。

製品を取り出した時に

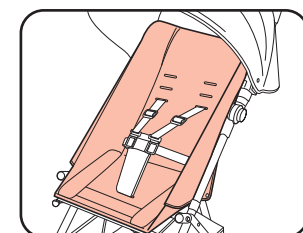
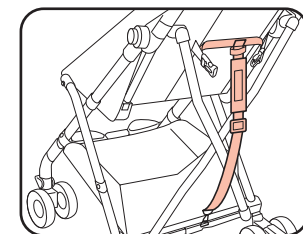
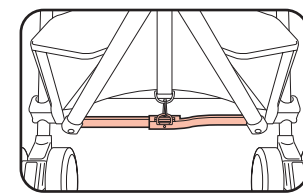
・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
・欠品や破損の際は、お買い上げの販売店または当社サービス係までご連絡ください。

日除け

〈付属品〉

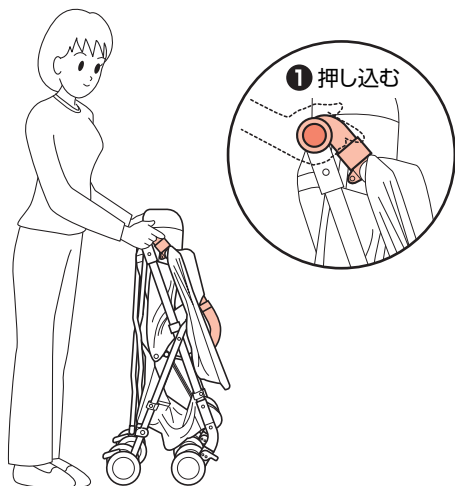
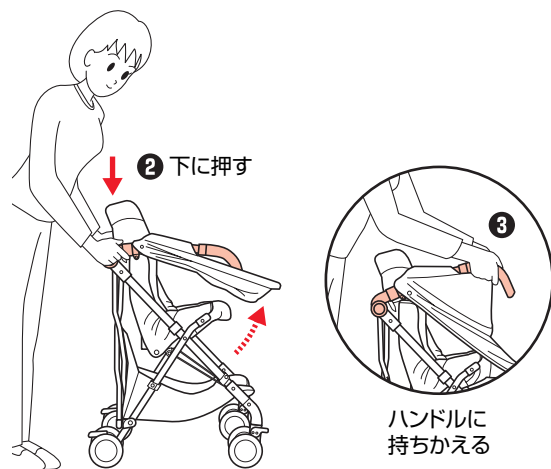
取扱説明書（本書）

・ベビーカーを開く時はP5を参照してください。
・日除けを取り付ける時はP13を参照してください。

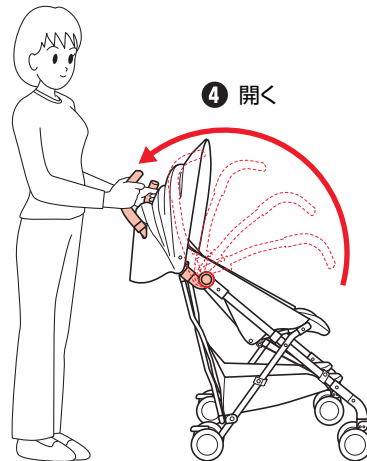
各部の名称

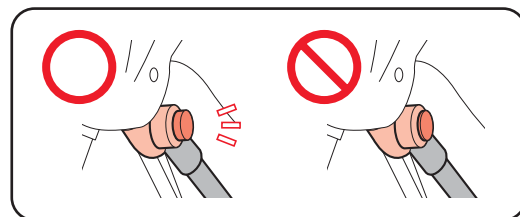
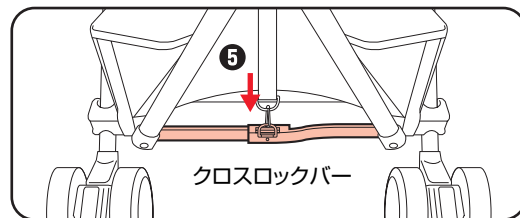
〈製品の特徴〉
・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。
・前後左右折りたたみ方式です。
・前輪はキャスター付です。
・ハンドルは背面側固定式です。
・車体を折りたたんだ状態で自立します。

開き方

⚠注意

・可動部でお子さまやご使用者さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをなされないよう、ご注意ください。
誤った取扱いや不注意により思わぬ事故やけがをするおそれがあります。
・お子さまが周りにいないことを確認する。

❶両手で左右のロックボタンを押し込みます。

❷ロックボタンを押し込んだ状態でハンドルアジャスト部を下に押します。
❸両手をハンドルに持ちかえます。

⚠注意

・ボタンを押した状態で開くと指や手を挟むおそれがあります。必ずハンドルを握って開いてください。

❹ハンドルを開きます。
・ハンドルを開くとロックボタンが元の位置に戻り、ロックが掛かります。

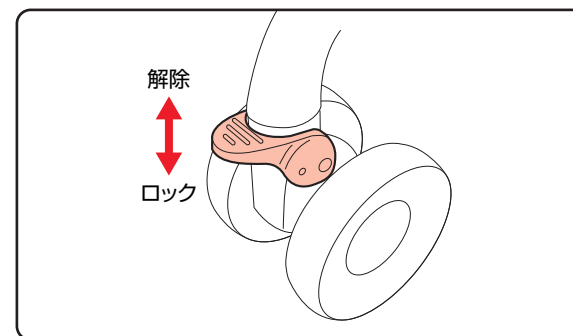
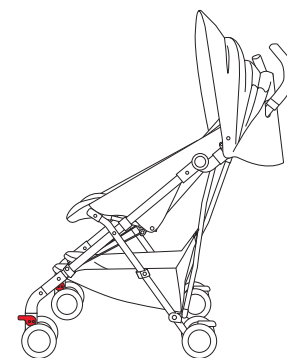
お願い

・ロックが完全に掛からない時は、もう一度ハンドルを開きロックが掛かっていることを確認してください。

❺クロスロックバーを押し込んで伸ばします。

⚠注意

・クロスロックバーが確実に伸びていることを確認してください。

キャスター

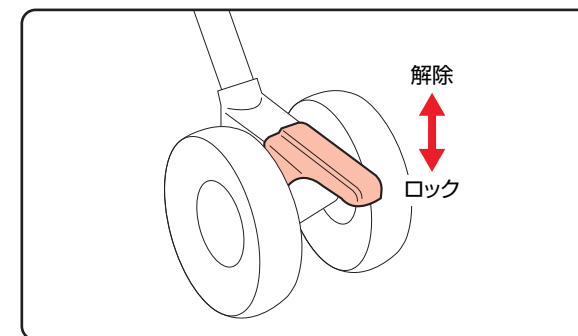
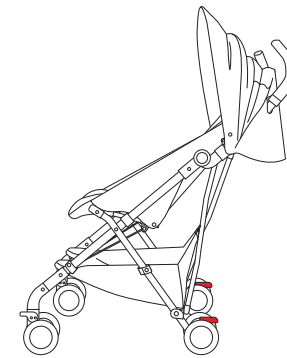
⚠警告

・凸凹道、坂道、傾斜地などでの走行には、キャスターを左右共ロックする。キャスターの向きにより車輪が回転せず、ベビーカーが転倒したり、お子さまが落ちけがをするおそれがあります。

〈解除する時〉
●平坦な道路での走行時。

〈ロックする時〉
●凸凹道、坂道、傾斜地などでの走行時。
●折りたたむ時。

ストッパー

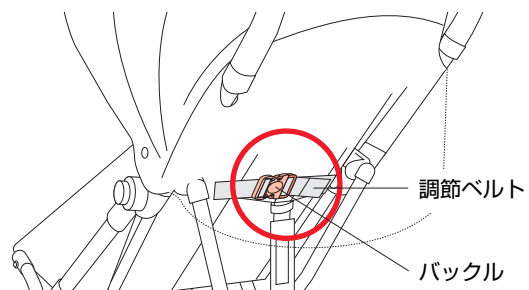
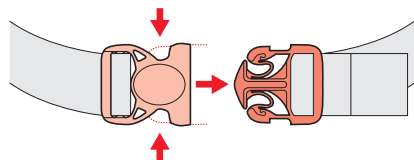
⚠警告

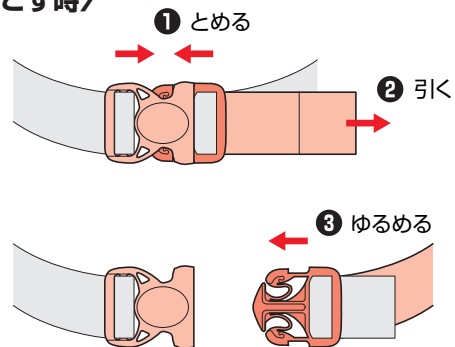
・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。

●お子さまを乗せていない時に、ベビーカーから離れる場合は、後輪のストッパーを左右共ロックします。
●お子さまを乗せている時は、ベビーカーから離れないでください。

・ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーがかかっていることを確認してください。

お子さまを乗せる時

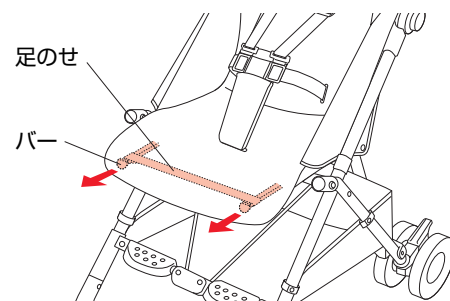
⚠注意
・可動部でお子さまやご使用者さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをなされないよう、ご注意ください。
誤った取扱いや不注意により思わぬ事故やけがをするおそれがあります。
・お子さまを乗せる前に左右のストッパーをロックしてください。
・背板を取り外して使用しないでください。

1. リクライニングの角度調節

〈倒す時〉

●バックルを外します。

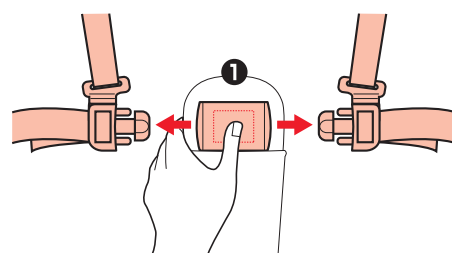
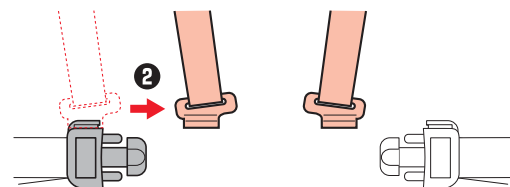
〈起こす時〉

❶バックルをとめます。
❷調節ベルトを引き、角度を調節します。
❸バックルがとめにくい時は調節ベルトをゆるめます。

⚠注意
・お子さまを乗せる前に調節してください。
・バックルをとめた時は、バックルが確実にとまっていることを確認してください。

2. 足のせを引き出す

・座席の延長として足のせを使う場合のみ。

●左右のバーを手前に引き出します。

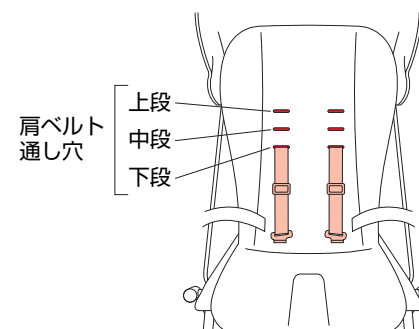
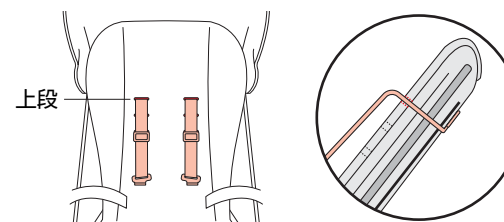
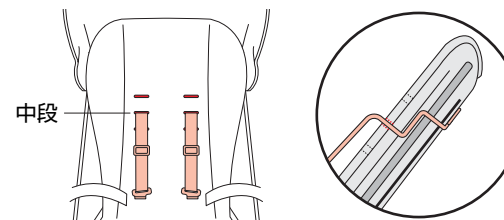
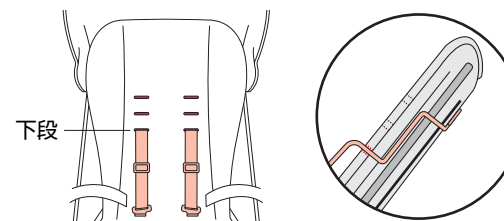
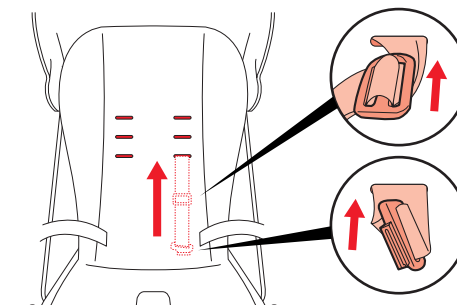
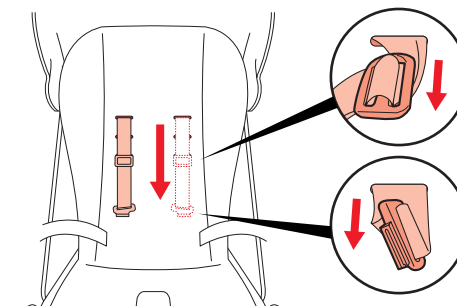
⚠注意
・クッションマットを取り外して使用しないでください。

3. 腰ベルト・肩ベルトを外す

❶股ベルトバックルの中央部を押し込み、腰ベルトを外します。

❷腰ベルトバックルから、肩ベルトを外します。

4. 肩ベルトの高さを調節する

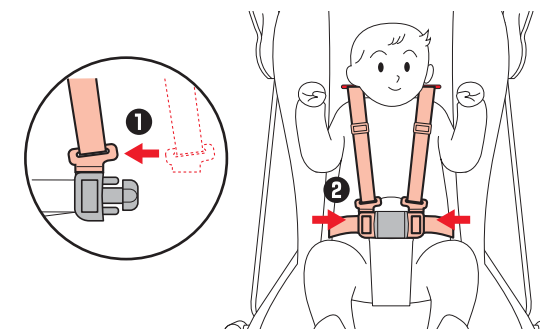
・肩ベルトの位置は3段階に調節できます。

⚠注意
・お子さまの成長に合わせてベルトの高さを調節してください。

月齢(体格)の目安	肩ベルト通し穴の位置
首がすわってから~7月	下段
7月~30月	中段
24月~36月以内	上段

〈上段使用時〉

〈中段使用時〉

〈下段使用時〉

〈調節方法〉

❶肩ベルトを背もたれ背面に引き抜きます。

❷お子さまの体格に合わせ、肩ベルトを肩ベルト通し穴に通します。

⚠警告
・肩ベルトを調節した後、シート前方から肩ベルトを引っ張って抜けないか必ず確認してください。

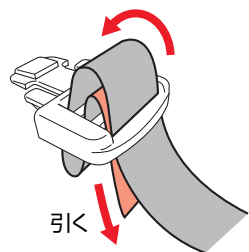
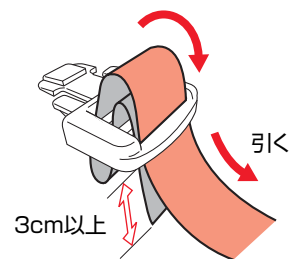
5. お子さまを乗せ、ベルトをとめる

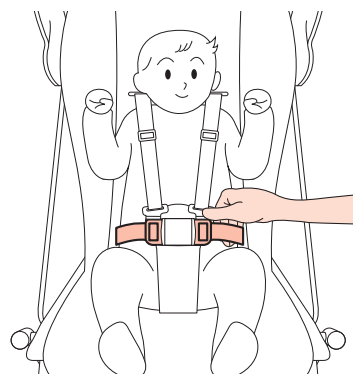
⚠注意
・肩ベルトをねじれた状態や左右交差して使用しない。
・肩ベルトをフリーにさせない。肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用してください。
肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。

❶肩ベルトを腰ベルトに差し込みます。
❷腰ベルトを股ベルトバックルに差し込みます。

6. 腰ベルトを調節する

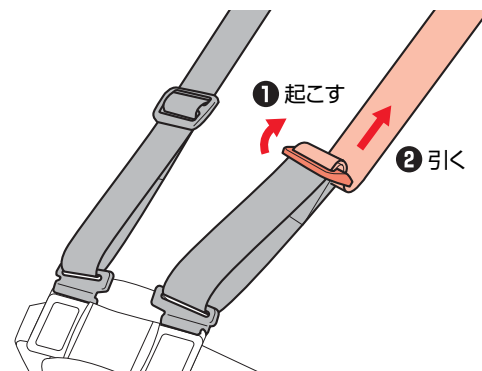
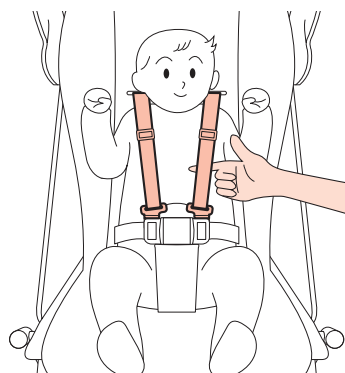
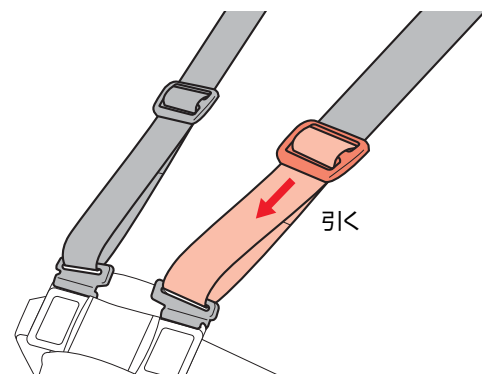
⚠警告

・腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節してください。

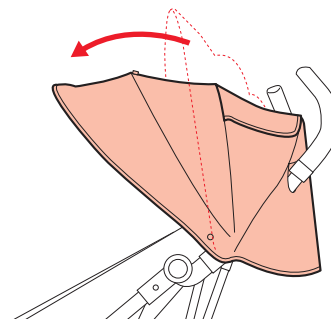
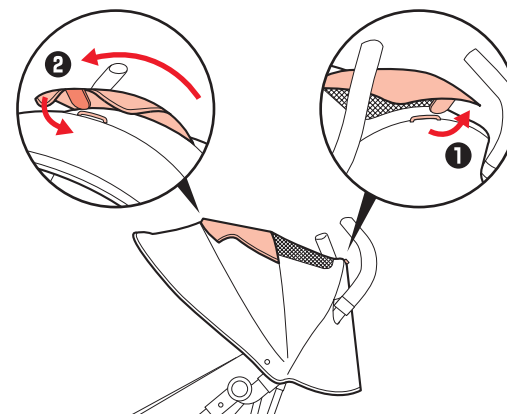
〈短くする時〉

〈長くする時〉

⚠注意

・腰ベルトの末端の出しろは必ず3cm以上残す。

●腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

7. 肩ベルトを調節する

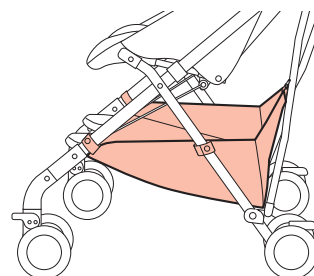
〈短くする時〉

〈長くする時〉

●肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度まで締めます。

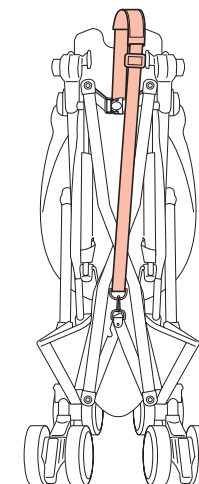
日除け

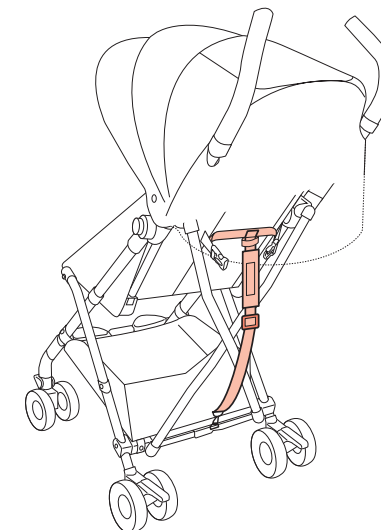
〈日除けを開く時〉

〈天面カバーを開く時〉〈採用機種のみ〉

❶差し込み部を外します。
❷天面カバーをめくり、ループに差し込みます。

カゴ

⚠注意

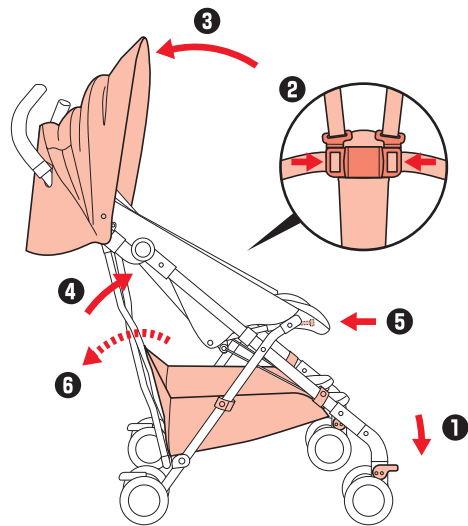
・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
・重量2.5kg以上の荷物を入れない。

ショルダーストラップ

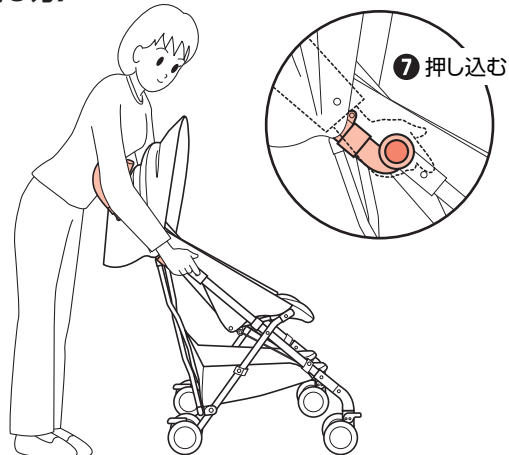
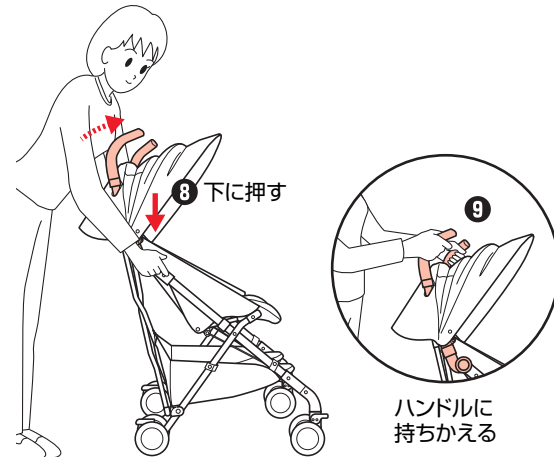
・車体を折りたたんだ時に、肩にさげて持ち運ぶことができます。
・アジャスターで長さが調節できます。

⚠注意

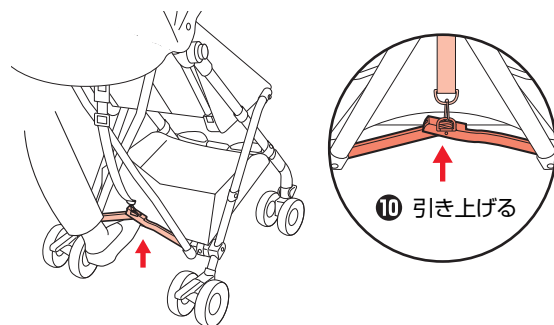
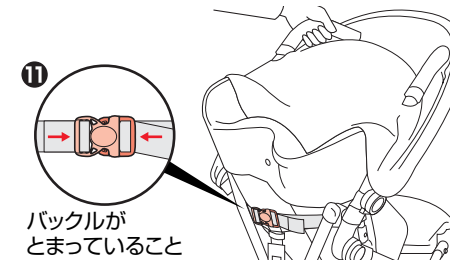
・車体に付着している油・泥・砂を拭き取ってからお使いください。衣類に付着するおそれがあります。

・開いた状態でベルトが長い場合は調節してください。

閉じ方

⚠注意
・可動部でお子さまやご使用者さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをなされないよう、ご注意ください。
誤った取扱いや不注意により思わぬ事故やけがをするおそれがあります。
・お子さまが周りにいないことを確認する。

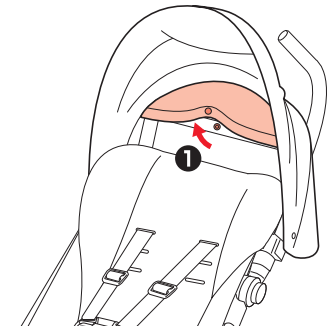
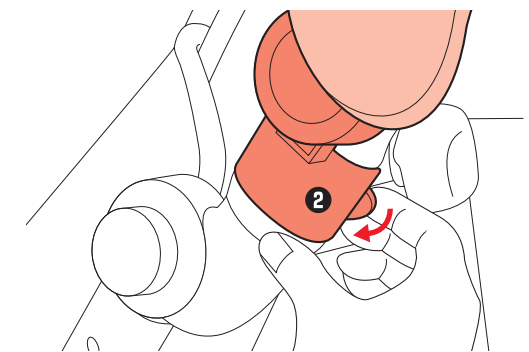
〈閉じる前に〉

❶左右の前輪キャスターをロックします。
❷肩ベルト、腰ベルトを股ベルトにとめます。
❸日除けを閉じます。
❹リクライニングを起こします。
❺足のせを収納します。
❻カゴから荷物を取り出します。

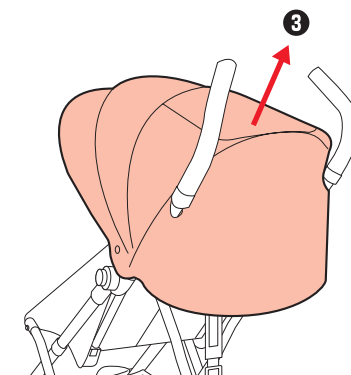
〈閉じ方〉

❼両手で左右のロックボタンを押し込みます。

❽ロックボタンを押し込んだ状態でハンドルアジャスト部を下に押します。
❾両手をハンドルに持ちかえます。

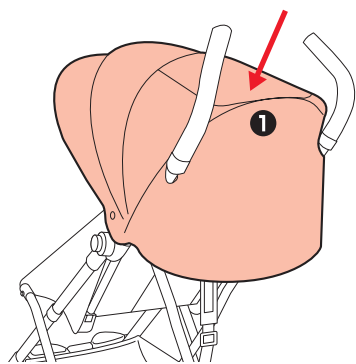
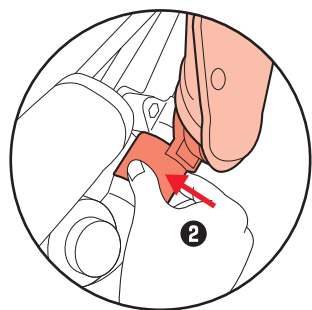
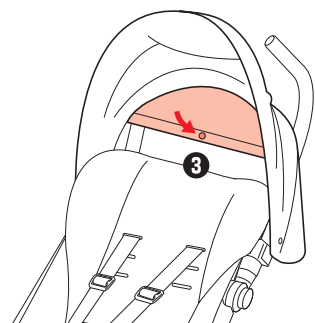
⚠注意
・ボタンを押した状態で閉じると指や手を挟むおそれがあります。必ずハンドルを握って閉じてください。

❿クロスロックバーの中央部を引き上げます。
・ショルダーストラップを引っ張り、クロスロックバーを引き上げることもできます。

⓫リクライニングが起きていることを確認します。

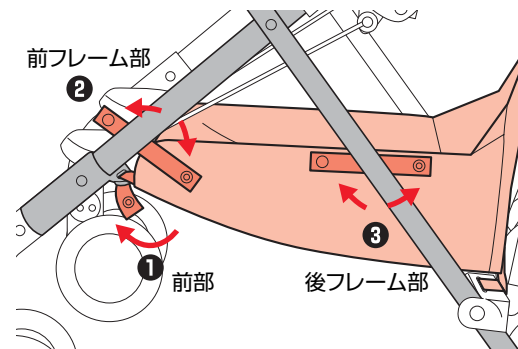
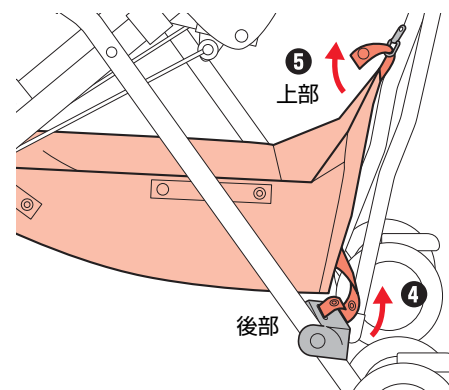
⓬ハンドルを閉じます。

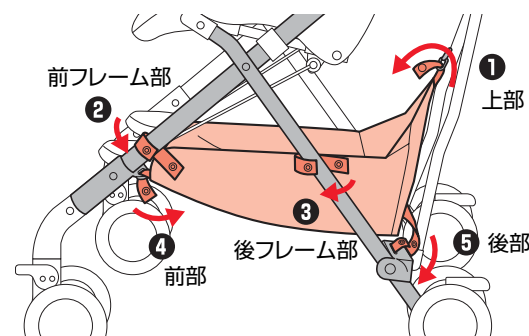
お願い
・ロックが完全に掛からない時は、もう一度ハンドルを閉じロックが掛かっていることを確認してください。

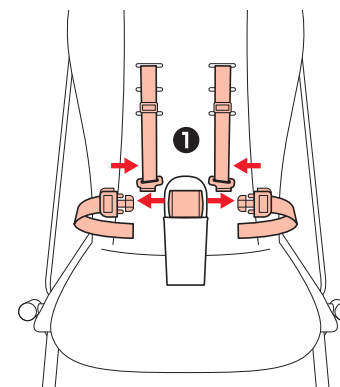
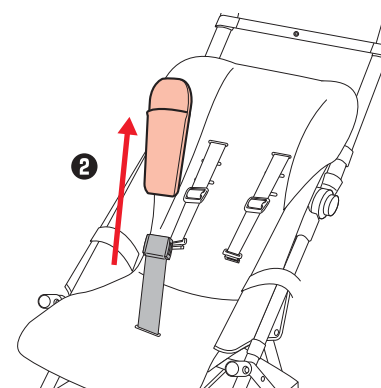
日除けの取り外し方

❶日除け内側のホックを外します。

❷日除けブラケットを手前に引き、取り外します。（左右）

❸通し穴からハンドルを抜き、取り外します。（左右）

〈取り付ける時〉

❶通し穴にハンドルを通します。（左右）

❷日除けブラケットを奥まで押し込みます。（左右）

❸日除け内側のホックをとめます。

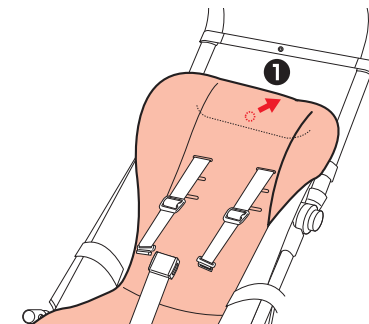
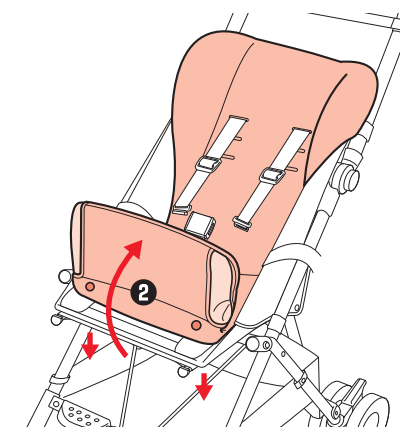
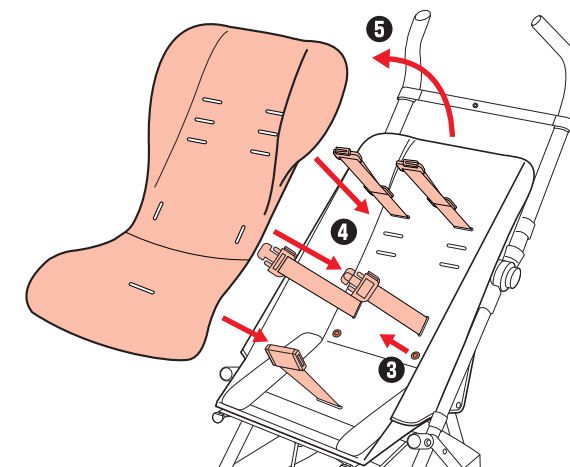
カゴの取り外し方

❶前部、❷前フレーム部、❸後フレーム部のホックを取り外します。（左右）

❹後部（左右）、❺上部のホックを取り外します。

〈取り付ける時〉

❶上部のベルトをフックに通し、ホックをとめます。
❷前フレーム部、❸後フレーム部のベルトをフレームに巻き付け、ホックをとめます。（左右）
❹前部、❺後部のベルトを通し穴に通し、ホックをとめます。（左右）

股ベルトカバーの取り外し方

❶腰ベルト、肩ベルトを外します。

❷股ベルトカバーを抜き取ります。

クッションマットの取り外し方

〈採用機種のみ〉

❶背もたれ背面のホックを外します。

❷座面裏側のホック（左右）を外し、座面部をめくります。

❸座面のホックを外します。（左右）
❹股ベルト、腰ベルト、肩ベルトを抜き取ります。
❺クッションマットを取り外します。

縫製品を洗浄する時

〈クッションマット〈採用機種のみ〉、股ベルトカバーの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。

〈日除け、カゴの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合
40℃前後の湯にタオルを浸し､軽く絞って汚れた所を充分に洗います。その後、乾いたタオルなどで充分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合
中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。
その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで充分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

⚠注意　・縫製品を屋外で干すときは、日陰の平干しにする。

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

・フレームや車輪についた泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

⚠注意
・フレームや車輪に泥やホコリが付いたままで使用しない。（故障の原因となります。）
・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しない。

・車輪は消耗品です。タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時はお買い求めの販売店又は、当社サービス係までお問い合わせの上、交換してください。（有償）

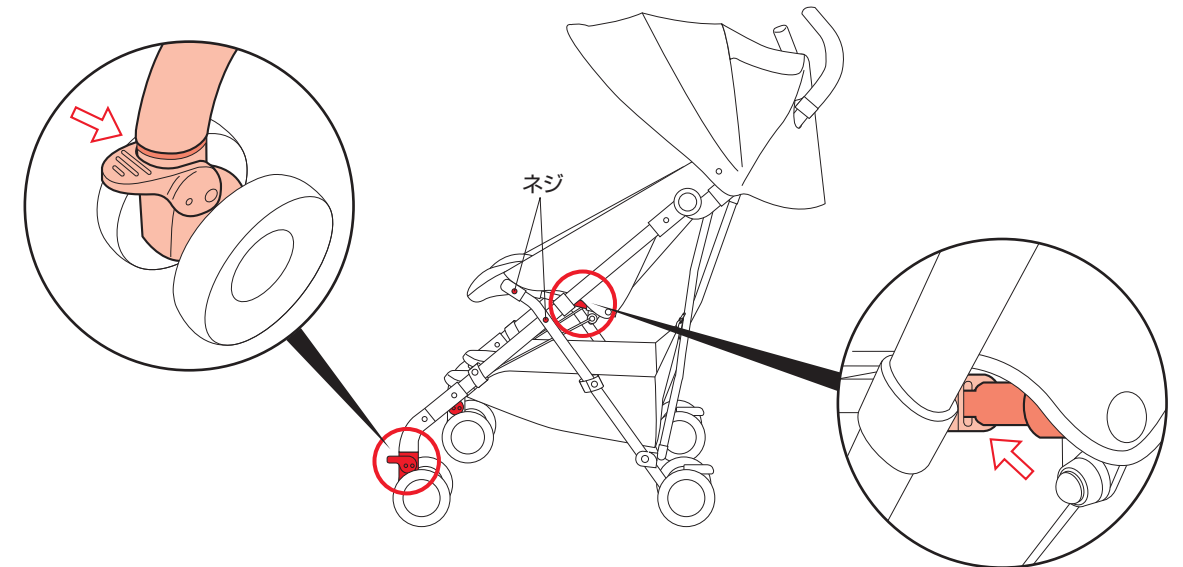
〈ネジ、ナット類ついて〉

・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合はしめなおしてください。

⚠注意　・破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず当社サービス員の点検、修理を受ける。

〈注油について〉

・注油の前には、泥やホコリを落とし、充分に水分を拭き取ってください。
・注油は、１カ所につき2〜3滴としてください。

●車体を折りたたんだり、開くのがスムーズにいかない場合や、キャスターがスムーズに回転しなかったり、車輪や車体がきしむ場合は、市販の潤滑油を図の ⇨ の箇所にさし、開閉操作を2〜3回行います。

困った時に

〈ご使用前に困った時〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある時は	販売店または当社サービス係に連絡してください。 参照 P18「アフターサービスについての連絡先」

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点	対処方法
キャスターが回転しない時は	キャスターロックを左右共解除してください。 参照 P6「キャスター」
	キャスターに潤滑油をさしてください。 参照 P16「注油について」
ストッパーがきかない時は	後輪のストッパーを左右共ロックしてください。 参照 P6「ストッパー」
肩ベルトが腰ベルトに差し込めない時は	肩ベルトを腰ベルトに差し込み、腰ベルトを股ベルトバックルに差し込んでください。 参照 P8「お子さまを乗せ、ベルトをとめる」
ベビーカーが折りたためない時は	〈閉じる前に〉の操作を行い、左右のロックボタンを押し込み、クロスロックバーの中央部を引き上げ、折りたたんでください。 参照 P11「閉じ方」
カゴが取り外せない時は	前後部（左右）、前後フレーム部（左右）、上部のホックを取り外してください。 参照 P13「カゴの取り外し方」
タイヤが消耗した時は	タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時は交換してください。 参照 P15「フレームや車輪のお手入れについて」

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
クラック（ひび割れ）や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

・解決しない場合は当社サービス係までご連絡ください。（P18参照）

保証とアフターサービスについて

・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号（P4を参照してください。）をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社サービス係までご連絡ください。

・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉
お客様サポートセンター　TEL **0120ー415ー814**
受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉
〒632-0221　奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター　☎（0743）84-2050

保管のしかた

・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
・夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
・荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

廃棄方法

・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
（地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。）